

昇龍道プロジェクトの 令和4年度活動方針



2022年4月15日
第13回昇龍道プロジェクト推進協議会





- 1. 令和4年度の活動方針の骨子**
- 2. 具体的な取組**

1. 令和4年度の活動方針の骨子

見据えておくべき事象

1. 今後予定されるビッグプロジェクト等

【短期】

世界ラリー選手権、ジブリパーク開業、
アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット 等

【中長期】

中部縦貫自動車道開通、北陸新幹線敦賀延伸、
大阪・関西万博、アジア競技大会、
中部国際空港機能強化、リニア中央新幹線開業 等

2. 現在の社会状況（観光関係）

- ・人口減少・少子高齢化（労働力・人材不足等）
- ・災害等の頻発・激甚化（豪雨等）
- ・新型コロナウイルス感染症の世界的流行
国を跨ぐ移動の制限、ウィズコロナへの対応
交通事業者を含む観光関連事業者の厳しい経営状況
新しい旅のスタイルの普及・定着、テレワークの推奨
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ・持続可能な観光への対応

広域観光推進の立場から必要な活動

テーマ：質の向上と持続性の確保

1. 観光の更なる質の向上
2. 豊かさを実感できる地域の実現
3. インバウンド回復を見据えた準備

ポイント
をしぼり
効果的に

具体的な取組

1. 観光の付加価値向上
観光地の再生
DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
人材確保・育成
2. 地方特有のコンテンツ等の活用
広域周遊観光の促進
持続可能な観光の推進
3. 訪日外国人受入環境整備の推進・高度化
旅行消費額拡大に向けた戦略的プロモーションの実施



2. 具体的な取組

必要な活動	具体的な取組	頁
(1) 観光の更なる質の向上	■ 観光の付加価値向上	4
	■ 観光地の再生	4
	■ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	5
	■ 人材確保・育成	5
(2) 豊かさを実感できる地域の実現	■ 地方特有のコンテンツ等の活用	6
	■ 広域周遊観光の促進	7
	■ 持続可能な観光の推進	7
(3) インバウンド回復を見据えた準備	■ 訪日外国人受入環境整備の推進・高度化	8
	■ 旅行消費額拡大に向けた戦略的プロモーションの実施	9

(1) 観光の更なる質の向上

コロナ禍前においては、訪日外国人旅行者数の増加に比べ旅行消費額が伸び悩んでいたことから、地域・サービスの高付加価値化やDXを推進するとともに、これらに対応できる人材を育成することにより、地域観光の質を高め、旅行消費額の拡大を図る。

■ 観光の付加価値向上

- 宿泊施設の改修や公共施設を観光目的化するための改修等を実施することにより、地域観光の高付加価値化を推進する。
- 宿泊と体験を組み合わせたサービスや、地域で取り組む泊食分離など、既存のモデルとは異なる「新たなビジネス手法」の導入により、サービスの高付加価値化に取り組む。

■ 観光地の再生



- 地域が一体となって廃屋撤去や地域の観光関連施設の改修等を進めることにより、地域の賑わいを取り戻し、面的な観光地の再生を実現する。

2. 具体的な取組

(1) 観光の更なる質の向上

■DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- VR（仮想現実）・AR（拡張現実）や5Gのデジタル技術と、既存のコンテンツを組み合わせることにより、新たなコンテンツを造成し、体験価値の向上を図り、新規来訪意欲の醸成とリピーター化につなげる。
- 人流・購買等のリアルタイムデータや予約・経路検索等の各種データを活用することにより、観光地経営の改善や来訪の促進につなげる。



■人材確保・育成

- 訪日客への対応や、DX化等先端技術の導入を含め、新たなビジネスや稼ぐモデル創出に取り組む人材が不足していることから、国の人材育成関連施策等を活用することにより、人材育成強化に取り組む。



(2) 豊かさを実感できる地域の実現

地域固有の自然環境や歴史・文化・風土を観光コンテンツとして磨き上げ、旅行者を各地域へ周遊させることにより、混雑や密を低減させ、オーバーツーリズムや地域資源の保全にも対応した持続可能な観光を推進し、世界の旅行者から選ばれる観光地を目指す。

■ 地方特有のコンテンツ等の活用

- 昇龍道地域内には、国内屈指のスキー場がある地域や、雄大な自然を有する国立公園が存在しており、これらの地域をスノーリゾートや、訪日外国人旅行者が滞在できる観光地として磨き上げ、地方での長期滞在や消費拡大につなげていく。
- 各地域内で身近に存在する個別の自然、食、歴史、文化、芸術、生業、交通等の地域ならではの観光資源を活用し、コンテンツの造成から販路開拓まで一貫して取り組むことにより、地域の稼げる看板商品を創出し、旅行消費額の拡大につなげていく。



2. 具体的な取組

(2) 豊かさを実感できる地域の実現

■ 広域周遊観光の促進

- 各地域が磨き上げた観光コンテンツについて、DMO等がこれらを広域周遊ルートに取り入れ提案すること等により、より効果的に広域周遊観光を促進し、幅広い地域で旅行消費額の拡大につなげ、地域経済の発展を目指す。

■ 持続可能な観光の推進

- 世界的に「持続可能な観光（サステナブルツーリズム）」への関心が高まる中、各地域においてもマネジメント体制を強化することなどにより、オーバーツーリズムや地域資源の保全にも対応した持続可能な観光を推進する。



(3) インバウンド回復を見据えた準備

インバウンド回復を見据え、来訪する外国人旅行者が安全・安心でストレス無く快適に旅行を満喫できる環境を整えるとともに、質の高い旅行環境を旅行消費額の拡大が見込めるターゲットに訴求することにより、各地域への来訪につなげていく。

■ 訪日外国人受入環境整備の推進・高度化

- 観光地、宿泊施設、公共交通機関等において、国の「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業」等を活用することにより、多言語での観光情報提供機能の強化、無料Wi-Fiサービスの整備、キャッシュレス決済の普及、バリアフリー化の推進、感染症対策の充実を進める。
- 非常時において多言語による情報提供等を行う体制の強化を進めることにより、安全・安心な旅行環境の整備を推進する。



無料Wi-Fi



DXを活用した非接触型
チェックインシステム



防災トイレ

2. 具体的な取組

(3) インバウンド回復を見据えた準備

■ 旅行消費額拡大に向けた戦略的プロモーションの実施

- インバウンド再開を見据え、コロナ禍においても、SNSや観光動画を活用したプロモーション等を引き続き実施するとともに、新たにメタバース等の最先端技術を取り入れた情報発信等にも取り組むことにより、地域の認知度や来訪意欲の向上につなげる。
- これまで十分に取り込めていなかった、長期滞在や旅行消費拡大が見込める欧米豪市場に対するプロモーションの強化や、富裕層に対する取組も行うことにより、質の高い価値ある観光地としての認知度の向上を図る。

